

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、不安定ながらも緩やかに回復している」

項目	前回（3年10月判断）	今回（4年1月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により一部に厳しい状況が残るとともに、回復に向けた動きに一服感がみられる	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、不安定ながらも緩やかに回復している	➡

（注）4年1月判断は、前回3年10月判断以降、4年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、感染症の影響を受けるサービス消費等で弱い動きがみられるものの、百貨店等で来店客数が回復していることから、緩やかに持ち直している。生産活動は、自動車関連を中心に緩やかに回復している。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（3年10月判断）	今回（4年1月判断）	前回比較
個人消費	感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある	一部に弱さがあるものの、緩やかに持ち直している	➡
生産活動	足下で自動車関連を中心に減少しており、回復の動きに一服感がみられる	緩やかに回復している	➡
雇用情勢	一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている	感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡
設備投資	3年度は増加見込み	3年度は増加見込み	➡
企業収益	3年度は増益見込み	3年度は増益見込み	➡
住宅建設	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	➡
公共事業	前年を下回っている	前年を下回っている	➡
輸出	増加の動きに一服感がみられる	緩やかに増加している	➡

【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が回復していくことが期待される。ただし、感染症による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「一部に弱さがあるものの、緩やかに持ち直している」

スーパー販売は、主力の食料品を中心に堅調となっている。コンビニエンスストア販売は、オフィス街などにおける入店客数が回復しつつあることから、緩やかに持ち直している。ドラッグストア販売は、調剤部門の持ち直しや新規出店効果もあり、増加している。百貨店販売は、入店客数が回復しつつあることから、持ち直している。家電大型専門店販売は、横ばいの状況となっている。ホームセンター販売は、園芸用品やアウトドア関連を中心に堅調となっている。乗用車販売は、供給面の影響が残るものの、緩やかに持ち直している。旅行取扱高は、国内向けの一部に動きがみられるものの、依然として厳しい状況が続いている。

(主なヒアリング結果)

- 売上は10月以降来店客数の回復により感染拡大前の水準に戻りつつあり、特に高額品や衣料品、食料品が売上を牽引している。(百貨店、大企業)
- 一般向けDIY用品は巣ごもり需要の落ち着きがみられるものの、天候にも恵まれ平年より気温も高くなったため、アウトドア用品や園芸用品、園芸植物が堅調となっている。(ホームセンター、大企業)
- 納期の長期化は少しずつ改善に向かっているものの、受注台数がメーカー側からの配車台数を上回っており、その状況は今後も続くものと思われる。なお、納期が長期化することによる顧客離れは感じていない。(乗用車、大企業)
- 緊急事態宣言の解除により、10月以降国内旅行者数が増加傾向にあるが、県民割による県内旅行や近隣県への旅行者がほとんどである。また、海外旅行については、依然として厳しい状況が続いている。(旅行、大企業)
- 緊急事態宣言解除後はファミリー層を中心に来店客が戻っているが、年末年始の企業等の宴会需要がほとんどない状況。今後は、感染再拡大に伴う緊急事態宣言の発令等による来店客数の減少が懸念される。(飲食サービス、大企業)

■ 生産活動 「緩やかに回復している」

自動車関連は、増加している。オートバイは、輸出向けを中心に緩やかに回復しつつある。航空機体部品は、海外航空機メーカーが大幅に減産したことから、悪化している。金属工作機械は、国内外受注ともに増加していることから、生産は着実に持ち直している。半導体集積回路は、増加のテンポが緩やかになっている。液晶は、弱い動きとなっている。プラグは、横ばいとなっている。開閉機器、電動機ともに、緩やかに持ち直している。普通鋼、特殊鋼ともに、おおむね横ばいとなっている。

- 足下では、秋口に減少していた完成車メーカーからの受注が回復しており、生産ラインの稼働率も当初計画レベルまで回復している。今後は、高水準の生産を見込んでいるが、部材不足や人手不足等の懸念材料がある。(輸送機械、大企業)
- 足下では、完成車メーカーからの受注が回復していることから、生産は戻りつつあるが、原材料価格の高騰や電力の値上がり等を注視する必要がある。(電気機械、大企業)
- 半導体製造装置向けを中心に国内外の受注が増加している。今後も高水準の生産を見込んでいるなか、派遣従業員等の確保が難しくなっており、残業時間が増加している。(生産用機械、大企業)
- 完成品メーカーが部材不足等の影響で生産調整を行っており、受注がやや弱含んでいる。(電子部品・デバイス、大企業)
- 完成車メーカーの減産により稼働率が低下していたが、足下では、受注が回復しており生産が戻ってきている。(鉄鋼、大企業)

■ 雇用情勢 「感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

有効求人倍率は横ばいとなっているものの、有効求人数、有効求職者数ともに増加している。

なお、完全失業率は低水準である。

- 生産量が増加しており、人手不足感がある。今後の増産に備えて、非正規雇用の従業員の採用を進めているところだが、なかなか思うようには採用出来ていない。(輸送用機械、大企業)
- 様々な業種で求人が増えていることもあり、感染拡大前の時のようにパート採用が厳しくなっている。(小売、大企業)
- 緊急事態宣言が解除され、求職活動を始める者が多くなってきたことにより、求職者数が増加している。(労働局)
- 人手に過不足感はなく、既存の従業員でやりくりしている。イベント時には臨時従業員の採用はするものの、来店客数が感染拡大前の水準に戻っていない状況を踏まえ採用を絞っている。(小売、大企業)

■ **設備投資 「3年度は増加見込み」** (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年10-12月期

- 製造業では、窯業・土石や食料品などが減少となるものの、輸送用機械や電気機械などが増加となることから、増加見込みとなっている。
- 非製造業では、サービスが減少となるものの、運輸などが増加となることから、増加見込みとなっている。

➤ 感染症による先行き不透明感はあるものの、継続的な需要の高まりが見込まれる半導体関連等の分野への投資は積極的に行っていく。(電気機械、大企業)

■ **企業収益 「3年度は増益見込み」** (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年10-12月期

- 製造業では、木材・木製品が減益となるものの、輸送用機械や窯業・土石などが増益となることから、増益見込みとなっている。
- 非製造業では、建設などが減益となるものの、サービスや卸・小売などが増益となることから、増益見込みとなっている。

■ **企業の景況感 「『上昇』超となっている」** (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年10-12月期

- 景況判断BSIでみると、全産業の現状判断は、紙・パルプが「上昇」超に転じたことや、卸・小売やサービスが「上昇」超に転じたことなどから、「上昇」超に転じている。また、先行きは「上昇」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ **住宅建設 「緩やかに持ち直しつつある」**

- 持家、分譲住宅、貸家が前年を上回っていることなどから、緩やかに持ち直しつつある。

■ **公共事業 「前年を下回っている」**

- 前払金保証請負金額でみると、独立行政法人等は増加しているものの、国、市町村等が減少していることなどから、前年を下回っている。

■ **輸出 「緩やかに増加している」**

- 輸出(円ベース)は、自動車を中心に緩やかに増加している。なお、輸入(円ベース)は、前年を上回っている。

■ **企業倒産 「件数は前年を下回っている」**

3. 各県の総括判断

	前回(3年10月判断)	今回(4年1月判断)	前回比較	総括判断の要点
愛知県	新型コロナウイルス感染症の影響により一部に厳しい状況が残るとともに、回復に向けた動きに一服感がみられる	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、不安定ながらも緩やかに回復している	➡	個人消費は、感染症の影響を受けるサービス消費等で弱い動きがみられるものの、百貨店等で来店客数が回復していることから、緩やかに持ち直している。生産活動は、自動車関連を中心に緩やかに回復している。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
静岡県	新型コロナウイルス感染症の影響により一部に厳しい状況が残るとともに、持ち直しの動きに一服感がみられる	新型コロナウイルス感染症や供給面での制約等の影響により一部に弱さがみられるものの、持ち直している	➡	個人消費は、自動車販売等を中心に緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、自動車関連等において半導体不足等の影響が残るものの、国内外の需要が堅調であることから、持ち直している。雇用情勢は、感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある。
岐阜県	新型コロナウイルス感染症の影響により一部に厳しい状況があるとともに、持ち直しの動きに一服感がみられる	新型コロナウイルス感染症等の影響がみられるなか、不安定ながらも持ち直している	➡	個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
三重県	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部で厳しさが増したことから、持ち直しのテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は、厳しい状況が残るものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、自動車関連で持ち直しつつあることから、全体でも持ち直しつつある。雇用情勢は、一部に厳しさが残るものの、改善に向けた動きがみられる。